2025年度 町田市立小山田中学校 部活動に係る活動方針

町田市立小山田中学校 校長 吉田 知弘

| 学校における部活動の方針 | ○ 知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育み、「日本型学校教 | |
|--------------------|--|-----|
| | 育」の意義を踏まえ、 | |
| | ・ 運動部活動においては、生徒がスポーツを楽しむことで運動習慣の確 | |
| | 立等を図り、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツ | |
| | ライフを実現するための資質・能力の育成を図るとともに、バランスの | |
| | とれた心身の成長と学校生活を送ることができるようにする。 | |
| | ・ 文化部活動においては、生涯にわたって学び、芸術文化等に親しみ、 | |
| | 多様な表現や鑑賞の活動を通して、豊かな心や創造性の涵養を目指した | |
| | 教育の充実に努めるとともに、バランスのとれた心身の成長と学校生活 | |
| | を送ることができるようにする。 | |
| | ○ 生徒の自主的、自発的な参加により行われ、学校教育の一環として教 | |
| | 育課程との関連を図り、合理的でかつ効率的・効果的に取り組む。 | |
| | ○ 部活動の取組に関し、地域との連携を図りつつ、学校全体としてその | |
| 適切な休養日などの設定方針 | 指導・運営に係る体制を構築する。 | |
| | 【休養日】 | |
| | 1 学期中は、週当たり2日以上の休養日を設ける(平日は少なくとも1 | |
| | 日、週休日は少なくとも1日を休養日とし、休養日が確保できなかった | |
| | 場合は他の日に振り替える。)。 | |
| | 2 長期休業中の休養日の設定についても「1」に準じた扱いを行う。ま | |
| | た、生徒が十分な休養をとることができるとともに、部活動以外にも多 | |
| | 様な活動を行うことができるよう、ある程度長期の休養期間(オフシー | |
| | ズン)を設けるよう努める。 | |
| | 3 町田市教育委員会が定めた学校閉庁日においては、公式の大会への参 | |
| | 加等を除いて休養日とする。なお、この期間に大会等に参加した場合(大 | |
| | 会期間の練習日も含む)は大会終了後に同日分の休養日を設ける。 | |
| | 【活動内容•活動時間等】 | |
| | 1 1日の活動時間は、学期中の平日は2時間以内、週休日(祝日等を含 | |
| | む)及び長期休業中は3時間以内とし、できるだけ短時間に、合理的で | |
| | かつ効率的・効果的な活動を行う。 | |
| | 2 学期中平日の活動時刻(生徒最終時刻)は3月から10月は18時、 | |
| | 11月から2月までは17時30分とする。 | |
| | サッカー 郊 一角 ボニー フ郊 一田 アバフケット ボール 郊 | 部活数 |
| | サッカー部 硬式テニス部 男子バスケットボール部 女子バスケットボール部 バドミントン部 剣道部 | 6 |
| | | 6 |
| 今年度設置している 文化部活動 | 吹奏楽部 美術部 技術部 | 部活数 |
| | | 3 |
| | | |

○男子バスケットボール部

・男子バスケットボール部には専門的な技術指導を行なえる顧問がおり、2024年度には都新人大会への出場も果たしている。また本部活動には、生活指導上大きな課題を抱えている生徒も在籍しているが、そういった生徒の自尊感情や部への帰属意識などの高揚を図ることができており、生徒たちの健全育成にも好影響を与えている。

今年度設置している 上記部活動で、「特色 ある部活動」として 学校が指定する部活 動

〇サッカー部

・サッカー部には今年度、専門的な技術指導が行なえる顧問はいないが、 公募により外部指導員を採用することができた。所属部員は平日だけ でなく、休日(土曜日を含む)にも専門的な技術指導を受けることが できている。

○吹奏楽部

・吹奏楽部には本校教員とともに、平日、休日(土曜日を含む)ともに 指導できる外部指導員を配置している。所属部員は都のコンクールで の金賞受賞を目標に、日々の活動に取り組んでいる。